

票数	書名	著者名	出版者	出版年	解説
17	坊っちゃん 夏目漱石自筆全原稿	夏目 漱石／著 柳澤 眞次郎／版權者	番町書房	1970	1908(明治41)年、博文館刊の複製。 『坊っちゃん』は、1906(明治39)年、俳句雑誌『ホトトギス』に発表されました。このとき漱石が執筆した自筆原稿は、もともと高浜虚子が所蔵していました。その後、1908(明治41)年に『ホトトギス』の同人であった俳人・水落露石に譲られ、後に原稿の蒐集家である柳澤眞次郎氏の所蔵となりました。全文の原稿を掲載したこの複製版は、柳澤氏が周囲の薦めに応える形で実現させた企画です(別冊の柳澤氏寄稿より)。原稿を丹念に眺めると、漱石による推敲の跡がわかります。付録の別冊には、写真資料と註釈のほか、江藤淳、林原耕三、柳澤眞次郎、夏目伸六各氏による寄稿が掲載されています。
10	たからものいれ	さくら ももこ／イラスト 小松 白・蘭／ストーリー	ニベア花王	2018	ニベアクリームの日本での発売50周年を記念して製作されました。ユーザーの記憶の片隅に残る「ニベアクリームの思い出」を募集し、「グンナイ」と「たからものいれ」の2冊の絵本になりました。 イラストはちびまる子ちゃんで有名な、さくらももこさんです。絵本には、ニベアクリームでおなじみの青い缶が付属しています。
9	Mommy? マミー?	art by Maurice Sendak scenario by Arthur Yorinks	Michael di Capua books	2006	センダックのイラストがポップアップ絵本になっています。赤ちゃんが、ママはどこ?と、恐ろしいお化け屋敷に迷い込んで…ドラキュラ、フランケンシュタイン、ミイラ男たちが飛び出してくる、迫力いっぱい楽しい絵本。
7	『東京都府中市全図』	府中市役所／監修	アトラス社	1958	1958年と1964年の府中市全図です。この期間で街がどれくらい移り変わったか 比べてみてください。 1958年の府中市全図は、よく見てみると、旧燃料廠跡にあった米軍司令部、ハイドロボニック(ファームングセンター)、赤松学苑、日本製鋼所ビクターオート、西部砂利穴、京王帝都電鉄、下河原線などが記載されていました。 1964年の府中市全図は府中市制10周年記念で市が出版したものです。1959年町名地番改正により、天神町、幸町、寿町、清水が丘が誕生しました。その後も町名は増えていきます。
5	老人	志賀 直哉／著 名著復刻全集編集委員会／編 日本近代文学館 (1969)	日本近代文学館	1969	志賀直哉が明治44年に書いた短編小説の複製原稿です。 「老人」と呼ばれる主人公の男性の晩年のお話です。明治43年創刊の同人誌「白樺」の専用原稿用紙を使用していると思われ、短編小説『老人』と同人誌全体のページ番号の両方が付番されているようです。やや太めのペンでさらりと書かれている文字からは、志賀直哉の人柄がうかがえます。
4	夜明け前 序章の一	島崎 藤村／著 名著復刻全集編集委員会／編	日本近代文学館	1969	昭和4年から10年まで「中央公論」で連載した長編小説「夜明け前」の複製原稿の一部。幕末から明治の激動の時代に翻弄された男を描いた、藤村最後の長編小説です。島崎藤村の父がモデルとなっています。 原稿は、書き損じや手直しが少なく、丁寧に書かれていて、藤村の人柄が表れています。
4	プトレマイオス世界図 大航海時代への序章	クラウディオス・プトレマイオス／作	岩波書店	1978	この地図はイタリア・ナポリの国立図書館が所蔵する15世紀に作成された写本「宇宙誌」の27葉の地図の複製です。著者とされるクラウディオ・プトレマイオスは2世紀の人です。プトレマイオス自身が地図の作成者であるかは諸説あります。プトレマイオスの地図は15世紀に多数の写本が作られ、ヨーロッパの各地の図書館に保管されています。この地図も15世紀に写本が作られ、17世紀末までパルマに保管されていましたが、1736年にナポリ王宮や大学に移され、現在は図書館に保管されているそうです。
4	かわ 絵巻じたてひろがるえほん	加古 里子／さく え	福音館書店	2016	「こどものとも」創刊60周年を記念して、絵巻じたととなり発売されました。1962年に「こどものとも」として発行された絵本『かわ』ですが、この絵巻じたては広げるとなんと7mにもなります。山につもった雪がとけ、流れた水が河になり、そして海になるまでの様子がひと続きとなって見ることができ圧巻です。表はカラー、裏は黒と水色の両面印刷となっており、2通りの楽しみ方ができます。
3	ノストラダムスの大予言 1 迫りくる1997年7の月、人類滅亡の日	五島 勉／著	祥伝社	1989	「ノストラダムスの予言」、「1999年空から恐怖の大王が降ってくる」といった言葉、懐かしく感じませんか? 初版は1973年に発行され、当館に所蔵しているのは1989年発行の431版です。本のカバーには、落合恵子・森村誠一両氏が寄せたコメントがあります。オカルトと感じるか、哲学と捉えるか、当時はどれだけの人が信じていたのでしょうか。
3	孢子文学名作選	永瀬 清子／ほか著	港の人	2013	シダや苔、菌類、海藻など、孢子によって増える生物類の登場する文学作品を集めた1冊です。松尾芭蕉や小林一茶の俳句から現代の作家まで、さまざまなジャンルの作品が収録されています。この本の最も特徴的な点は吉岡秀典氏によるブックデザインで、孢子の世界を表現するためにさまざまな意匠が凝らされています。穴のあいたページや、ボツボツした手触りのページなど、手に取っただけでその不思議な世界を体感できるように作られています。
3	幕末・明治 日本国勢地図		柏書房	1983	明治前期に政府が初めて作成した20万分の1国土全覧図で、こちらは『輯製20万分の1図』(参謀本部陸地測量部刊)の復刻となります。47cm×64cm、159ページの巨大サイズで、北海道から沖縄まで当時の地形や山脈が、立体的かつたいへん緻密に描かれています。東京のページの中央に、府中の地名を見つけることができます。
3	府中刑務所落成記念写真帖		新建築社	1935年	府中刑務所の始まりは、寛政2(1790)年老中松平定信の命により設置された、墨田川河口の石川島人足寄場です。その後、昭和10(1935)年6月に官制改正により「府中刑務所」と改称され、現在の場所に移転しました。この資料は、移転の前月に内部の様子を撮影したものです。施設がどのように使われたのかは、『塙の中のイラスト日記 イラスト監獄事典part2 府中刑務所のすべて』(野中ひろし／文・絵 日本評論社 1988)で内部の様子が紹介されていますので、比較してみてください。
3	復刻国定教科書<国民学校期>[ヨミカタ1～4]	文部省	ほるぶ出版	1982	昭和16年に発行された、国語のヨミカタに関する教科書の復刻版4冊セット。 絵や文章から、戦時中である当時の子どもたちの服装や遊び、暮らしを知ることができます。戦闘機の絵や、「ヒノマルノハタ バンザイ」「ヘイタイサン」「軍かん」「大日本帝國」という言葉が載っており、教育の中にも戦争が色濃く存在していることがよく分かります。また、満州の暮らしについても書かれています。

票数	書名	著者名	出版者	出版年	解説
2	航空發動機並計器	内藤 邦策／著	誠文堂新光社	1937	戦前の航空機エンジンと計器に関する本です。当時の最新技術である航空機エンジンの種類や部品、周辺機器、燃料、計器などについて図や写真を使って解説しています。アメリカやヨーロッパの航空先進国に追いつこうと邁進している当時の日本の航空界の状況がわかります。
2	明治大正時刻表(7)公認記者汽船旅行案内		新人物往来社	1998	1998年に復刻された大正4年と大正10年の時刻表です。現在の時刻表は左開きですが、こちらは反対の右開きです。駅名検索等が現在の「あいうえお」順ではなく「いろは」順に並んでいます。付属の案内図を見ると大正10年版には小さく府中の記載がありますが、大正4年版にはなく、調布が記載されています。時刻表も同様で、「京王線は大正5年」という府中市郷土カルタを思い出します。大正10年版のP149には現在の西武多摩川線、P212には京王線が掲載されています。その他、鐵道連絡図は日本からヨーロッパまで航路を介して繋がっており、時刻表には朝鮮半島や台湾、中国大陸の路線も掲載されています。
	明治大正時刻表(8)公認記者汽船旅行案内		新人物往来社	1998	
2	『武蔵野の独歩(豆本)』 多摩豆本 第11冊	芳澤 鶴彦／著	日野 未来工房	1981	中央図書館には地域資料の豆本を10冊以上所蔵しています。豆本は、一般に手のひらに収まるぐらいの大きさの本のことだといわれています。名称は様々で、江戸時代には雛本(ひいなぼん)などと呼ばれていました。こちらは、限定300部発行のうち、279番目に刷られたものです(第1～5番までは特装版)。
2	『府中市中心部街道ぞい家並変遷図』	府中市立郷土館／編	府中市	1983	市内中心部の旧甲州街道付近並びに鎌倉街道の道路に面した家並を、明治、大正、昭和(戦前、戦後、昭和57年)の変遷であらわしたものです。八幡町、宮町、宮西町、片町、本町の現在と比べて見ると、時代の移り変わりが感じられます。現在では店舗が無くなったところ、移転したところ、商売が変わったところなどもありますので、見比べてみてください。
2	全住宅案内地図帳 府中市 昭和40年度版	住宅協会地図部／編集責任	公共施設地図航空	1965	昭和40年度の府中市の住宅地図です。府中市町名索引をみると、現在の町名とは異なり、昔使われていた地名(小字)がたくさん見て取れます。例えば、ルミエール府中のある場所は接続図表7946です。現在の地名は府中町ですが、この地図によると当時の地名は新宿(しんしゅく)だったようです。また、府中駅の近くの街並みも現在と比べると大きく違っています。接続図表7947を見ると、大國魂神社交差点前のケヤキ並木は現在と違って随分と狭くなっています。
2	宴会パーティー幹事さんの本 これで宴席が10倍盛り上がる とっておきの出し物を満載	井田 良彦／著	大泉書店	1987	幹事の心得や基本的なマナーから、宴会を和ませる民謡・宴会かくし芸やお色気ゲームまで載っています。2024年現在改めて見ると発行当時の平成初期の文化・時代を感じます。
	みんなで楽しめるザ・宴会芸	マイウェイ昌彦／著	高橋書店	1989	
2	小學唱歌集 初編 名著複刻日本児童文学館 第1集[33]	文部省／編	ほるぶ出版	1978	1881(明治14)年から1884(明治17)年にかけて発行された日本で最初の音楽教科書です。初編33曲、第二編16曲、第三編42曲の全91曲で構成され、初編には「蝶々」「蛭」「蛭の光」や「君が代」などが収録されています。
2	東京電車案内(豆本)大正五年七月調査	東京旅館組合本部／編		不明	いろは順に町名索引と、公共機関・学校の所在地案内があります。わかりやすい路線図付きで、三日間の東京観光のプランを提案している等、今日の旅行ガイドブックと変わらぬ充実ぶりです。巻頭と巻末に三越呉服店の写真付き宣伝が掲載されており、表紙に旅館「上野館」の印鑑が押してあるので、三越呉服店と東京旅館組合の販売促進のため、それぞれの旅館から配られたものと推察されます。
2	東京府大正震災誌	東京府／編	東京府	1925	大正12(1923)年9月1日 午前11時58分、関東大震災が発生しました。震災による被害は、東京府だけでも死者約5万9千名、行方不明者約1万名、全壊家屋約1万6千戸、焼失家屋31万1千戸に達しました。この資料は、震災による被害状況と、東京府による救護活動や救援物資の保管についてなど、震災の総合的な記録となっています。
2	Cinderella. With five set scenes and nine trick changes パントマイムおもちゃ絵本 シンデレラ The Osborne Collection 複刻世界の絵本館		ほるぶ出版	1979	オズボーンコレクション シンデレラの絵本です。様々な大きさの絵が、本の中央に綴じられ、めくるごとに場面が変わっていきます。まるで物語が上演されているような印象をあたえます。
1	広報ふちゅう 縮刷版 1 昭和27年1月1日～昭和44年7月15日 1号～256号	府中市企画調整部広報課／編	府中市	1976	「広報ふちゅう」の第1号から第256号までを収録した縮刷版です。1952(昭和27)年に「府中町広報」として創刊し、1954(昭和29)年からは市制施行に伴い「府中市広報」と名称を変えました。1964(昭和39)年より「広報ふちゅう」というタイトルが使用されています。1961(昭和36)年4月1日発行の第68号には、府中市立図書館の開館を知らせる記事が掲載されているほか、その直前の号では、職員が開館準備に追われる様子なども紹介されています。
1	府中市商工住宅名鑑 昭和39年最新版	宗林 朝翁／編集	住宅協会	1964	1964(昭和39)年発行の、府中市内の住宅地図です。市制施行からまだ10年、最初の東京オリンピック・パラリンピックが開催された年でもあります。町名・番地は現在と異なる点も多く、中央図書館が建っているこの場所も番地が異なります。
1	小絵馬集 第1輯	田中緑紅／編	郷土趣味社	1927	小絵馬とは、文字どおり小型の絵馬のことで、著名な画家ではなく庶民が描いているという点に特徴があります。1927年に出版されたこの本は、全国各地の小絵馬25点をカラー図版で紹介したもので、朴訥とした味わいをもつ小絵馬の魅力を楽しむことができます。また、掲載されている図版は彩色が非常に鮮やかで、出版から経過した100年近い歳月を感じさせません。図版以外の、解説だけのページには銀粉が散らされており、光線の角度により模様になって浮かび上がります。
1	諸国絵馬集		日本橋倶楽部	1925	タイトルの通り諸国の絵馬を紹介した本ですが、本の中の小さな本をめくると、絵馬が現れるような仕掛けが施されています。解説文のようなものはとくに記されており、詳しい内容のはっきりとわからない絵馬もありますが、各地方や寺社それぞれの特色を映した絵馬を楽しむことができます。絵馬の周りに散らされた多数の札からは、当時の店の名や人物名を知ることができます。

票数	書名	著者名	出版者	出版年	解説
1	愛だからいいのよ	内田 春菊／著	講談社	2002	11本のしおりが髪の毛のようになっています。黒・白・金・茶の4種類が刊行され、府中市は茶色のものを所蔵しています。表紙も同じように4種類あります。
1	吾輩ハ猫デアル 上編/中編/下編 名著複刻漱石小説文学館	夏目 漱石／著	日本近代文学館	1988	『吾輩は猫である』は1905(明治38)年に『ホトギス』で発表され、上編1906(明治39)年10月、中編1906(明治39)年11月、下編1907(明治40)年5月に刊行されました。 名著複刻漱石小説文学館 全14巻は、当時の装丁を可能な限り再現したものです。 『吾輩ハ猫デアル』は、アンカット本(本の天・地・小口を切り落とさないで装丁した袋綴じのような本。カット済み)となっています。本の頭部分には「天金」の加工が施されており、三冊とも細部までこだわった装丁です。
1	真田三勇士忍術名人猿飛佐助 立川文庫 第40編 名著復刻日本児童文学館 第1集 6	雪花 山人／著	ほるぶ出版	1975	立川文庫(たつかわぶんこ)は、1911(明治44)年から1924(大正13)年にかけて196冊刊行された大ヒットシリーズです。少年向けの読み物で、『水戸黄門』や『真田幸村』、『霧隠才蔵』などがあり、『猿飛佐助』は立川文庫シリーズの中で最も人気がありました。1913(大正2)年に立川文明堂が発行、1974(昭和49)年ほるぶ出版社が復刻、天金加工が施された手のひらサイズの文庫本です。
1	三十五区 大東京市電車案内(豆本) 新旧町名対照・鉄道・電車・行程早見	黒岩 芳馬／編 菊地 啓祐／編	雄文館	昭和11年1936	当時の東京市の35区を詳細に示しており、交通案内では、主だった駅間の行程表が市営電車・地下鉄道・その他の鉄道で一覧になっています。35区別の新旧町名の対照表には最寄りの停留所名も記載されています。公共機関の所在町名・停留所名の案内もあります。添付の「新大東京市電車業案内圖」には、市営バスの路線図や、中心部の詳細な路線地図があります。歴史的な資料として非常に貴重で、国立国会図書館や昭和館デジタルアーカイブなどで閲覧することもできます。
1	ムラノエホン 復刻絵本絵ばなし集 小國民繪文庫	塚原 健二郎／文 山下 大五郎／画	ほるぶ出版	1978	1943(昭和18)年、中央出版協会刊の複製。 父親が幼い息子に、自分の子供時代の思い出話をしてやるところからはじまります。当時の村での生活や人々の考え方が現実的かつ簡潔に表現されており、戦時中だったことが文章や絵からよみとれます。巻末の出版宣伝ページに、著者名の記載だけで、作品名「未定」が多いのは興味深いことです。初版は2万部発行、価格は70銭でした。
1	一寸法師 復刻絵本絵ばなし集 お伽画帖 第二十三編	巖谷 小波／編 鱒崎 英明／画	ほるぶ出版	1978	1909(明治42)年、博文館刊の複製。 元となっている『御伽草子』では、一寸法師は化け物ではないかと気味悪く思われ、嘘をつき人をだまして出世したとなっています。巖谷小波の話は、小波型一寸法師と言われ、悪賢さが消え、愛らしい一寸法師になっています。大正末期まで読み継がれ、現在出版されている児童書は、大半がこの小波型一寸法師です。唱歌「一寸法師」は、巖谷小波が作詞し『尋常小学唱歌』に掲載されました。
1	東京辯	今村明恒 / 編	日本のローマ字社	1915	著者は地震学を研究する理学博士です。地方から上京した時に「東京弁」の習得に大変苦労したという自身の経験からこの本を著しました。著者は、普通の学生がわかりあうには、円滑な会話による思想の交換が笑顔で行われることが必要であると考えていました。監修は方言学の研究者である東上操氏と、歌人・国語学者である土岐哀果(土岐善麿)が行っています。当時の若い世代に向け、日常よく使われる言葉を集めた本です。
1	花咲かぢづい 明治の赤本 復刻絵本絵ばなし集	竹内 栄久／画	ほるぶ出版	1978	1880(明治13)年、宮田幸助により出版された初版の複製。 木版多色刷りの豆本。江戸期以後、「草双紙」と呼ばれる大衆的な絵入り小説が流行し、その一つである「赤本」(表紙が赤い小型本)が子ども向け絵本として流行しました。竹内栄久は歌川国政(四世)として知られる画家で、寛永元年に日本橋で生まれ、大正9年没。明治画壇と関わりなく、竹内栄久の名で草双紙を書き続けました。子どものための仕事は、おもちゃ絵、芝居舞台の組立絵などで活躍しました。
	舌切すゞめ 明治の赤本 復刻絵本絵ばなし集	竹内 栄久／画	ほるぶ出版	1978	
	猿蟹合戦 明治の赤本 復刻絵本絵ばなし集	竹内 栄久／画	ほるぶ出版	1978	
	桃太郎鬼ヶ島でん 明治の赤本 復刻絵本絵ばなし集	竹内 栄久／画	ほるぶ出版	1978	
1	The Gallant history of Bevis of southampton サウザンプトンのビーヴィスの冒険<イギリス昔話集> The Osborne Collection 復刻世界の絵本館	William John Thoms／編	ほるぶ出版	1979	オズボーンコレクション ウィリアム・ジョン・トムズ編集のイギリスの昔話集。表紙の色使いが鮮やかです。 トムズは“Folklore(民間伝承)”という言葉は初めて用いたことで知られています。
	The Sweet and pleasant history of patient Grissel 忍耐娘グリセルのゆかしい物語<イギリス昔話集> The Osbone Collection 復刻世界の絵本館	William John Thoms／編	ほるぶ出版	1979	
	A Mournful ditty of the death of fair Rosamond 美わしの乙女ロザモンドの死への哀歌<イギリス昔話集> The Osborne Collection 復刻世界の絵本館	William John Thoms／編	ほるぶ出版	1979	

票数	書名	著者名	出版者	出版年	解説
1	アヒルトニワトリ 日本一ノ画噺 復刻絵本絵ばなし集	巖谷 小波／著 岡野 栄・小林 鐘吉・杉浦 非水／画	ほるぷ出版	1978	1911(明治44)年から1915(大正4)年にかけて刊行されたものの複製で、中西屋書店の「日本一ノ画噺」シリーズ36冊のうちの6冊です。 刊行当時は、彩色麦わら細工の小函に収められていました。日本の近代絵本史の中でも草分けの一つとされます。斬新かつモダンなデザインと、ミニチュア本の愛らしい装幀で読者に好まれました。日本の昔話を明文化しリズムミカルな文章は巖谷小波が担当し、シルエット調のデザインは商業美術の心得がある杉浦非水のものと言われています。
	ウラシマ 日本一ノ画噺 復刻絵本絵ばなし集	巖谷 小波／著 岡野 栄・小林 鐘吉・杉浦 非水／画	ほるぷ出版	1978	
	カチカチャマ 日本一ノ画噺 復刻絵本絵ばなし集	巖谷 小波／著 岡野 栄・小林 鐘吉・杉浦 非水／画	ほるぷ出版	1978	
	キヨマサ 日本一ノ画噺 復刻絵本絵ばなし集	巖谷 小波／著 岡野 栄・小林 鐘吉・杉浦 非水／画	ほるぷ出版	1978	
	ソガキョウダイ 日本一ノ画噺 復刻絵本絵ばなし集	巖谷 小波／著 岡野 栄・小林 鐘吉・杉浦 非水／画	ほるぷ出版	1978	
	ザウノアソビ 日本一ノ画噺 復刻絵本絵ばなし集	巖谷 小波／著 岡野 栄・小林 鐘吉・杉浦 非水／画	ほるぷ出版	1978	
3	Humpty Dumpty ハンプティ・ダンプティ 復刻マザーグースの世界 オーピーコレクション	Aliquis／作	ほるぷ出版	1992	イギリスのオックスフォード大学ボードリアン図書館が所蔵する、オーピー夫妻によって収集された児童文学コレクションのことです。その中から、ほるぷ出版が「復刻マザーグースの世界」として出版しています。型に切り抜いた本や、仕掛け絵本、カードタイプのものなど、凝った装飾のものもあります。
	The house that Jack built ジャックのたてた家 復刻マザーグースの世界 オーピーコレクション	The Pilgrims／絵	ほるぷ出版	1992	
1	Kate Greenaway’s calendar for 1884 ケイト・グリーナウェイのカレンダー 1884年 The Osborne Collection 復刻世界の絵本館	Kate Greenaway／絵	ほるぷ出版	1979	オズボーンコレクション 4枚1組の大判のカードに、イギリスの絵本作家、ケイト・グリーナウェイによるさまざまな色彩とデザインの絵が印刷されています。
1	Curiosities in the Tower of Lodon ロンドン塔見物 1 The Osborne Collection 2	Thomas Boreman／文	ほるぷ出版	1984	オズボーンコレクション Ⅱ 「ロンドン塔見物」は、トーマス・ボアマンによる1741年の書籍で、ロンドン塔の歴史や興味深いエピソードを紹介しています。小さな小さな豆本が2冊入っています。
	Curiosities in the Tower of Lodon ロンドン塔見物 2 The Osborne Collection 2	Thomas Boreman／文	ほるぷ出版	1984	
1	The laughable game of what d’ye buy? お笑い買物ゲーム The Osborne Collection 2	Professor Punch／文	ほるぷ出版	1984	オズボーンコレクション Ⅱ パンチ教授のお買い物ゲーム アンティークな木箱に、解説書、絵柄カード12枚、文字カード72枚が入っています。当時のパーティーゲームを復刻したものです。
1	Tabvlae abcdariae pveriles アルファベットシート The Osborne Collection 2	Valentin Babst／文	ほるぷ出版	1984	オズボーンコレクション Ⅱ 子ども達がアルファベットの読み方を学ぶ見本のようなものです。
0	図書館だより NO.1～NO.38	府中市立図書館／編	府中市立図書館	1977	府中市立図書館で現在も発行を続けている「図書館だより」の記念すべき第1号から第38号までを合冊にしたものです。府中市立図書館は1961(昭和36)年4月に旧府中町役場の建物を利用して開館しましたが、「図書館だより」は、その9か月後の1962(昭和37)年1月20日に第1号が発行されました。1号から順番に見ていくと、ガリ版刷りでイラストは手書きだった初期から、少しずつ変化していった流れをたどることができます。府中ゆかりの植物学者・大賀一郎氏や民俗学者・宮本常一氏からの寄稿も掲載されています。
0	花嫁花婿必要帖 婦人倶楽部新年号付録		大日本雄弁会講談社	1933	昭和初期当時の結婚するための指南書です。「婦人倶楽部」の読者に向けて書かれたため、男性についての内容は少なく、女性に向けて花嫁の心得が多く書かれています。電車で見かけた女性を息子の嫁にしたいと家まで後をつけて近所の人に評判を聞くというエピソード等からは、当時の結婚に対する考え方が伺えます。掲載されている広告も大変興味深いものです。
0	ふるさと 名著復刻日本児童文学館 第1集 11	島崎 藤村／著	ほるぷ出版	1975	1920(大正9)年に実業之日本社が刊行、ほるぷ出版が復刻しました。詩人であり作家として活躍した島崎藤村による童話集で、挿画は竹久夢二が手掛けています。『ふるさと』は、「少年読本」シリーズの第一童話集にあたる『幼きものに』の姉妹本になります。我が子に向けて、父の故郷での思い出話「雀のおやど」「梨や柿はお友達」「祖父の好きな御幣餅」など70の短い物語がつづられています。
0	鬼桃太郎 幼年文学 第壹号名著復刻日本児童文学館 第1集1	尾崎 紅葉／著	ほるぷ出版	1971	尾崎紅葉唯一の幼年向け作品で、桃太郎のパロディになります。鬼ヶ島の川にどんぶらこと流れてきた苦桃から生まれた苦桃太郎。毒龍、大狒、狼をお供に桃太郎退治に行きますが…。多色刷りの華やかな表紙に、毎ページに緻密な挿絵がある草双紙形式で書かれた「桃太郎の後日譚」です。1891(明治24)年に博文館が出版したものをほるぷ出版が復刻しました。
0	ニッポンノアマ 復刻絵本絵ばなし集 小国民繪文庫	平塚 武二／文 小山内 龍／画	ほるぷ出版	1978	1947(昭和22)年、中央出版株式会社刊の複製。 戦後、日本の海洋国としての地位を国民に認識させる意図で、海への親しみと海女の姿を描きました。パステルで描かれた素朴な絵が当時の人々の心を癒したことでしょう。 後書きの作者の言葉に、「今日の日本にとっては、海は残された唯一の資源であるといっても過言ではありません。(中略)今後永遠に平和な日本を建設するためにも、」とあり、戦後の思いがあふれた刊行だった事が想像されます。

票数	書名	著者名	出版者	出版年	解説
0	浮かれ胡弓 復刻絵本絵ばなし集 お伽画帖 第十九編	巖谷 小波／編 岡野 栄／画	ほるぶ出版	1978	原話はノルウェーの昔話「ちびのフリックとヴァイオリン」です。主人公フレッドは正直な若者で、魔物の神様から不思議な鉄砲と胡弓をもらいます。鉄砲は狙った所に必ず命中し、胡弓は弾くとだれもが浮かれ出しました。フレッドは、いじわるな主人の嘘のせいで囚われますが、首絞り台の上で胡弓を弾き皆が浮かれているうちに逃げる事ができたというお話です。人物や背景は西洋的な絵ですが、日本の一銭硬貨が描かれています。
0	Orbis sensualium pictus 世界図絵 The osborne Collection 復刻世界の絵本館	Johann Amos Comenius／文・絵	ほるぶ出版	1979	オズボーンコレクション イギリスの図書館員であったオズボーン氏が、夫人と一緒に集め、後にトロント公共図書館へ寄贈した2000冊を超える貴重な古い子どもの本のコレクションの復刻版です。 「世界図絵」は、世界最初の子どもの向けピクチャーブックとして有名な作品です。初版は1658年で、ラテン語で書かれていました。
0	馬学教程 歩工兵科用		陸軍士官学校	1895	陸軍士官学校の教程書のひとつです。構造学、外貌学、衛生学の3編で構成されています。乾燥地帯や熱帯での温度・湿度管理、寒さ対策、清潔に保つための手入れ法から怪我をした時の治療法まで、馬と暮らすためのすべてのことが書かれています。冒頭の総論からは、「馬」が軍にとって、いかに重要な動物であったかが伺えます。
0	馬術（内外遊戯全書；第13編）	遠山熙／著	博文館	1900	『内外遊戯全書』は、明治32(1899)年から33(1900)年にわたり、15編の分冊で出版されました。府中市立図書館に所蔵しているのは、第13編の『馬術』のみですが、他はデジタル化されたものを国会図書館デジタルコレクションで読むことができます。『昆虫採集』(第10編)、『蹴鞠と自転車』(第15編)など屋外で行うもののほか、『福びき集; 附・歌かるた法』(第14編)などもあります。
0	耳科衛生	今井亥三松 / 編	南江堂	1906	南江堂は、現在でも医学書で定評のある出版社です。著者は金沢の医師で、多くの人が放置しがちな軽微な聴覚異常が、深刻な耳の疾病に繋がってしまう危険があることなどが書かれています。 耳の疾病が精神状態や発育等にも影響をすることなど、現在の医学にも通じる内容が書かれているほか、西洋の人が赤ちゃんにキスをする習慣は、赤ちゃんの鼓膜を傷つける恐れがあるのでよくない等、当時の市井の様子がうかがえる内容もあり、大変興味深い資料です。序文を書いているのは、レントゲン技術の日本導入に貢献した、陸軍軍医の芳賀栄次郎氏です。
0	Die Uhr 時計 復刻世界の絵本館 ベルリンコレクション	Gustav Holting／文 Theodor Hosemann／絵	ほるぶ出版	1982	ベルリンコレクション ドイツ国立図書館が戦争で散逸してしまっていた貴重な絵本を収集したもので、このコレクションは、ドイツ、フランス、イタリア、ロシアを中心に名作を復刻したものです。 「時計」「小さな赤ずきん」「白雪姫」の3冊がセットで1箱になったものです。挿絵はどれもドイツの挿絵画家テオドール・ホーゼマンによるものです。
	Das Kleine Rothkappchen 赤ずきん 復刻世界の絵本館 ベルリンコレクション	Gustav Holting／編 Theodor Hosemann／絵	ほるぶ出版	1982	
	Sneewittchen 白雪姫 復刻世界の絵本館 ベルリンコレクション	Theodor Hosemann／絵	ほるぶ出版	1982	
0	A child’s garden of verses 子どもの詩の園	Robert Louis Stevenson Illustrated by Janat Messenger	Dutton Children’s Books	1992	英国スコットランド出身の作家ロバート・ルイス・ステューヴンソンが1885年に出版し、ロングセラーとなった子ども向けの詩集「子どもの詩の園」から20の詩を選んでいます。 イラストをつけて、ポップアップ絵本にしたものです。